



令和5年度

横浜市立生麦小学校

# 学校だより

横浜市鶴見区生麦4-15-1 学校長 小倉 孝行  
<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/namamugi/>



2月(如月)

## 大人が子どもにできること

校長 小倉 孝行

1月19日(金)3・4年生はたてわり活動の一環としてスケート教室に行きました。3年生に感想を聞くと「転んだときに4年生が助けてくれた。」「靴ひもを結んでくれた。」「と教えてくれました。昨年度3年生だった子どもたちが4年生になり、当時ペアのお兄さん・お姉さんだった現5年生にしてもらったことを、同じように後輩にしてくれたことはとてもうれしいです。当日はたくさんの保護者の皆様にご参加いただき、児童の見守りをしていただきました。ありがとうございました。また、1月29日(月)の朝会では、大谷翔平選手から寄贈されたグローブを披露しました。子どもたちはグローブを手にとりとても興奮していました。今後グローブを使いボール投げ等ができる時間をとる予定です。



寄贈されたグローブでキャッチボールをする児童(朝会にて)

私はこの時期になると、とても胸が熱くなります。それは受験当日の母との思い出のことです。私は区役所が指定する小学校とは別の、市をまたいだ公立小学校に入学しました。ですが中学については、継続して市をまたぎ、通学することは難しい状況でした。どちらの中学校に入学したとしても、私がつらい思いをするのではないかと心配した母。結局、私は中学受験をすることになりました。2月1日、同じ中学校を受験する友人とその家族、そして私と母の4人で受験会場に向かいました。駅前や受験会場の校門では他の小学生たちが塾の先生と握手をしていました。会場に着き校門で母と別れるとき、友人は家族と握手をして「がんばってね」と声をかけられていました。その光景を見た後、母は私の目をじっと見ていました。意識して誰かと握手をしたことがない私。もちろん母とも握手をしたことはありません。結局、私はそのまま門をくぐりました。母はせめて「がんばってね」と声に出して言いたかったと思います。その後、受験は長くかかりました。商売をしていた父から受験のことや結果について何一つ言われたことはありません。ただ、私が塾で「正月特訓」なるものを受けている間、母が近くの神社で合格祈願をしていたことと、その神社は私の七五三の参拝をした場所であることだけは言われ、わかるよなという表情だったことを覚えています。母もだいぶ年をとりました。あの時、握手をすればよかったと後悔しながらも、今では思い出の一つになっています。先日、久しぶりにその神社に行きました。社務所で売っているお守りを見て、受験当日、ズボンのベルト通しに紺色の同じお守りが結わかれていたことを思い出しました。母との握手をしそびれ、いまだにしたことのない私は、お賽銭を入れて母の健康を祈りました。

家族にはその数だけ家族のかたちがあります。ただ、子どもに幸せになってもらいたいという気持ちはみんな同じです。生麦小学校の子どもたちに関わる全ての大人(保護者・地域の皆様、教職員)も、子どもたちに幸せになってもらいたいと思っています。成長過程にある子どもに、大人の気持ちを感じさせることは難しいかもしれません。ですが、子どもがもう少し大きくなったとき、あの時の出来事、あの時の言葉に自分は支えられ、守られてきたと気がつくのではないかと思います。そして、多少つらいことがあったとしても、希望をもってこれからも生きてくれると私は信じています。

6年生は卒業式まで登校32日、1年生から5年生は登校35日で修了式です。4月になれば桜が咲き、子どもたちは新たな場所でまたがんばってくれるでしょう。振り返れば子どもと一緒にいられる時間は、そう長くはないように感じます。卒業・進級前のこの2か月。これまでお子さんと共に過ごした時間を思い出し、寄り添いながらお互いに気持ちを伝え合ったり、お話しされたりするのいいのかもしれませんが、子どもへの、いつの日かの思い出のために。

### ○ 卒業式の来賓の参列について

本年度の卒業式ですが、来賓につきましては、生麦小学校教育後援会、まちと共に歩む学校づくり懇話会、学校運営協議会の各委員の皆様、PTA代表の皆様にご臨席いただきたいと考えています。なお、卒業生の保護者の皆様の参列につきましては、改めてご案内いたします。